

平成29年度 事務事業評価シート

事務事業名		農業体験学習				所管	教育委員会 指導課		
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	—	計画事業名	(行政計画外事業)	事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標]				[事業開始] 平成 4 年度			
		[小 柱]				[終了予定] - 年度			
		[施 策]							
	根拠法令等	その他		[法令等名]	要綱等なし				
	事業対象	区立小中学校(忍岡小学校、金曾木小学校、大正小学校、金竜小学校、桜橋中学校)児童・生徒							
	事業目的	作物の植付けから収穫までの過程を実際に体験することを通して、自分たちの栽培した作物を収穫することの喜びを体得させる。また勤労の尊さやたくましく生きる人間性豊かな児童生徒を育成する。							
	事業内容	自校敷地内若しくは千葉県流山市に農地を借り上げ、農業体験実践校が作物の植付けから収穫までを体験する。							
委託の有無	一部委託		委託内容	事業実践に係る委託(該当校)、農地耕起委託 除草作業・施設管理委託					
補助金の有無	なし								
事務事業の実績	種 別	指標の名称		(単位)	目標値 (31年度)	26年度	27年度	28年度	
	活動指標	実践校数		(校)	2	5	5	5	
		参加児童・生徒数		(人)	100	469	462	477	
	決算額 (単位:千円)					5,332	6,148	5,448	
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)				1,275	1,203	1,338	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				5,112	5,929	5,228	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				220	220	220	
		総経費				6,607	7,352	6,786	
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				0	0	0	
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				0	0	0	
一般財源(区負担額)				6,607	7,352	6,786			
前回評価から改善した事項	児童・生徒が使用する休憩施設設備が老朽化してきていたが、補強することでより快適に使用できるようにした。								
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	3	本区の環境の特性上、普段の学校生活の中で農作業を行うことが困難であることから、本事業が提供する大規模農地での農作業体験は、意義深い体験学習となっている。環境学習の側面からも有用であることから、一定の必要性が認められる。						
	効率性	3	経費は農作業指導農家への依頼に係るもの等であり変化はない。						
	手段の適切性	3	学校施設の規模は限られており、都内においては大規模農地の確保は非常に困難であることから考えて、現在のように他地域で農地を借りて事業を実施する現在の手段が妥当である。						
	目的達成度	3	参加児童・生徒数は農業体験により人間性豊かな児童生徒育成の一助を担っている。						
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)						評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	
自然に触れ、勤労の尊さを学ぶ貴重な体験を提供する事業である。人間性豊かな児童生徒の育成を目的に今後も事業を実施していく。現在借上げしている農地の一部が使用できなくなり、代替地の確保が出来ていない状況であるため、実施校を減らして実施する予定である。							縮小		